

[単体情報]

営業の概況

当中間期における業績は、次のとおりとなりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比156億円増加して6兆6,697億円となりました。貸出金は、前年度末比1,885億円増加して5兆2,574億円となりました。有価証券は、前年度末比1,203億円減少して1兆5,661億円となりました。

経常収益は、海外金利の上昇により資金運用収益が増加したことに加え、国債等債券売却益の増加等によりその他業務収益が増加したことなどから、前年同期比158億88百万円増加して762億30百万円となりました。一方、経常費用は、貸倒引当金繰入額の減少によりその他経常費用が減少したものの、海外金利の上昇により資金調達費用が増加したことなどから、前年同期比83億35百万円増加して489億2百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比75億52百万円増加して273億27百万円となりました。また、中間純利益は、前年同期比51億82百万円増加して191億84百万円となりました。

銀行の安全性・健全性を示す単体総自己資本比率（バーゼルⅢ基準）は14.08%となりました。

中間配当金につきましては、1株につき8円といたしました。